

### Ⅲ. 委員会活動

## 1. 広報委員会

平成 22 年度の広報委員会は、業務毎にワーキンググループを形成し活動を実施した。以下に、業務毎の活動内容を報告する。

### 1) 大学案内の作成

“受験生が手に取り、ページを開いて目を止めるような大学案内作り”をコンセプトに、大判写真の多用、全教員の全身写真の採用などのアイデアを取り入れて、1 万 7 千部作成した。

### 2) ホームページ運営

開設してから 1 年間（平成 21 年度）、未完成ページが数多くあったのを平成 22 年度にすべて完成させた。同時にページ別訪問者数を月毎にリサーチし、“閲覧数を増やすためのページ作り”の検討を開始した。

### 3) オープンキャンパス運営

“志願数は大学施設への直接来場者への対応で決まる。小さいながらも魅力的な大学であることを見せる”をテーマに、学生、教職員一丸となって計 9 回開催し、述べ 444 名の参加を得た（平成 21 年度と比較して 2 割増）。特にオープンキャンパスのために教育、指導を施した学生スタッフの接遇は参加者に好評であり、アンケート結果では“出願の決め手になった”という回答が複数見られた。

### 4) 大学通信発行

開設してから 1 年間（平成 21 年度）、不定期発刊で発刊実績自体も低下傾向にあったが、今年度を期に 2 カ月に 1 回の定期刊行化を実現した。

### 5) 学外広報活動（ガイダンス、出前講義など）

企業ならびに高校から依頼されるガイダンスや出前講義を積極的に受けた。特に作業療法学専攻教員による念入りなガイダンス活動が作業療法学専攻の入学者増に繋がったのではないかという感触もある。

## 2. 自己点検評価委員会

### 1)第1回自己点検・評価委員会の開催

日 時：2月22日（月） 15:00～16:00

場 所：本学3F小会議室

出席者：佐藤秀紀, 中山広宣, 石倉隆, 渡辺正仁, 吉機俊雄, 野村卓生, 正木明人

審議事項：今後の自己点検・評価委員会の活動について

委員長より大学評価（認証評価）について説明（概略）

日本の大学はこれまで、新設される際に文部科学省の審査を受けるだけで、設置された後は大学の活動（教育研究等）は義務的に審査されることはなかった。

しかし、大学における教育の大枠を国が決めていた時代ではなくなった現在、大学における教育研究等の質を継続的に保証していくためには、設置された後のチェックがより重要になってきた。

そこで現在では日本の全ての大学は、学校教育法により、7年以内に一度、文部科学大臣の認証する評価機関の定期的な評価を受けることが義務化されている。この制度を「認証評価」制度と呼んでいる。

評価機関は、大学評価・学位授与機構、大学基準協会、日本高等教育評価機構の3つの機関がある。

### 2)第2回自己点検・評価委員会の開催

日 時：6月22日（火） 14:40～16:10

場 所：本学3F小会議室

出席者：佐藤秀紀, 中山広宣, 石倉隆, 渡辺正仁, 吉機俊雄, 山口忍, 足立一, 清田直恵, 島雅人, 椎葉健太郎, 正木明人

審議事項：5月29日に関西大学で開催された、3認証機関（大学基準協会、大学学位授与機構、日本高等教育評価機構）共催シンポジウムの報告をおこなった。

### 3)第3回自己点検・評価委員会の開催

日 時：9月28日（火） 14:40～16:10

場 所：本学3F小会議室

出席者：佐藤秀紀, 中山広宣, 石倉隆, 渡辺正仁, 吉機俊雄, 山口忍, 足立一, 清田直恵, 島雅人, 椎葉健太郎, 正木明人

審議事項：①財団法人 日本高等教育評価機構 大学評価基準内容の報告

②教員活動自己点検・評価の作成について

### 3. FD委員会

FD委員会は10回開催し、授業内容および改善の方策に関する事項、研究会及び講習会の開催に関する事項について審議した。実際の活動は、以下のとおりである。

#### 1)授業評価アンケート

授業アンケートは、昨年度と同様、実施は教務委員会が担当し、事務局で集計された後に、FD委員会が受け取った。実施方法・内容とも昨年度と同様で、前期試験・後期試験前の最終授業終了後に、全科目（専任・非常勤）について担当教員より配布・回収した。回答は、マークシート方式（15問）及び記述式（3問）とし、学生の意欲・教室教材の利用・授業内容・教員の意欲等について、5段階で評価するものである。前期はリハビリテーション学科32科目、言語聴覚専攻科22科目、計54科目、後期はリハビリテーション学科28科目、言語聴覚専攻科11科目、計39科目について実施した。実施結果を踏まえた授業改善への取組として、結果授業評価アンケートの結果を担当教員に報告し、学生からの要望点を示して授業改善を促すとともに、授業評価アンケートの学生からの意見に対し、学生へのコメントや授業についてのメッセージの提出を依頼し、「担当教員から学生へのフィードバック」として学内Moodleに掲載した。

#### 2)FD研究会・FD講習会

専任教員が自らの専門分野を教育学的観点に立って講義する技能と態度を向上することを目的とし、研究活動を発表・議論し互いに研鑽する場を設けた。年間を通して6回開催し9名の専任教員の発表による研究会を開催した。

また、大学教育におけるFD活動の取り組みについて他大学の現状を把握することを目的とし、12月に「FD活動の現状と課題—多様化する学生が満足する授業のあり方—」というテーマで、佛教大学の原清治先生を招聘し講演会を開催した。専任教員と事務職員を合わせ55名が参加し、講演についてのアンケートでは、授業改善を考える上で参考になったとの回答が多く、高い満足度を得ることができた。

今後も各委員会と連携し授業内容・授業方法の改善のために組織的に取組むとともに、そのために効果的なFD研究会・FD講演会を企画していく方針である。

#### [FD委員会の開催]

##### 1)第1回FD委員会

日時：11月22日（火）13:00～13:20

場所：本学3F小会議室

出席者：佐藤秀紀, 吉機俊雄, 井崎基博, 島 雅人

審議事項：今後のFD委員会の活動について

- ①今後のFD委員会の活動について
- ②授業の内容および改善の方策に関する事項

## 2)第2回FD委員会

日 時：2月22日(月) 16:00～

場 所：本学3F小会議室

出席者：佐藤秀紀, 吉機俊雄, 井崎基博, 島 雅人

審議事項：今後のFD委員会の活動について

- ①研究会及び講習会の開催に関する事項
- ②産学連携, 各種団体との連携の推進等の地域貢献活動に関する事項

## [FD研究会の開催]

### 1)第1回FD研究会

日 時：11月17日(火) 16:00～17:00

場 所：本学3F大会議室

出席者：22名

報 告：野村卓生准教授による研究の紹介

### 2)第2回FD研究会

日 時：12月15日(火) 16:00～16:40

場 所：本学3F大会議室

出席者：20名

報 告：石倉隆教授による研究の紹介

### 3)第3回FD研究会

日 時：1月19日(火) 16:00～17:00

場 所：本学3F大会議室

出席者：23名

報 告：小野学長によるプレゼンテーション

### 4)第4回FD研究会

日 時：2月23日(火) 16:00～16:40

場 所：本学3F大会議室

出席者：20名

報 告：中村教授 「スポーツ医科学研究所の活動紹介とあり方」

#### 5)第5回FD研究会

日 時：3月23日(火) 16:00~16:40

場 所：本学3F大会議室

出席者：18名

報 告：早坂講師による研究の紹介

### 4. 図書委員会

#### 1)議案

- ①文部科学省届出済 完成年度までの納入予定図書の選書作業(選書基準策定作業を含め)について
- ②学生満足度向上を目的とした図書館機能充実にむけた作業について
- ③第1期中期計画策定会議を受けた対応について
- ④オンライン・デジタル書籍活用について
- ⑤その他
  - ・議事録のガルーンへのアップ
  - ・見計らい図書
  - ・卒業生サービス
  - ・学生の図書館利用(利用規定, 及び改訂を含め)について
  - ・大学通信への記事の掲載について
  - ・図書委員会規程の改変
  - ・彩都キャンパスへの資料設置
  - ・蔵書整理

#### 2)審議結果

- ① ワーキンググループを立ち上げ, 作業する. 昨年度発注分の納入は5月に完了し, データ登録を夏までに済ませる. 選書に当たっては, 学生の選書委員, 卒論担当教員, 各学科教員の意見を取り入れる必要がある. また選書基準については, 7月に作成した選書方針(広い視野を持ったセラピスト養成ということで, 広く体系的な蔵書をもつこと, 多様な学説・見解のあるテーマに関しては, それぞれに立った資料を広く収集する. 教員の研究図書に関しては, 個人研究費で購入が基本. 視覚資料の充実と, セラピストの教養, 及び人間形成に必要な一般書籍も併せて蔵書する. さらに, 学生の日々の学習・教育に必要な専門的・それに類する図書を最優先として蔵書する.)

にのっっていくことが合意されたが、本来大学として「どういう学生を育成するのか」という理念の明確化が重要。（第7回定例会議資料2参照）

設置申請に不足する2000冊について、まず書架の増設を実施後、完成年度までに少しずつ選書を実施することに。今年は発注せず、次年度に。

- ② 学生満足度を向上させる目的の作業として、また、中期計画策定会議での計画案と連動した、全学生を対象とするアンケート調査を計画、利用実態や要望に関してアンケートを作成。ワーキンググループに分けて質問項目を作成し、実施は次年度に。
- ③ 第1期中期計画で、図書館充実に関し、1. 増冊と増席 2. オンラインで閲覧可能な資料の導入 3. 彩都キャンパスへの資料設置の3項目が挙げられた。これについて、10月に実施計画を作成。増冊、増席に関して、まず選書方針を作成し、希望図書を募り、希望図書購入の稟議を作成し提出、承認された。増席については周密書架増設に関して、中期計画策定会議で検討され、必要性についての認識あるものの、具体的な動きはまだ。
- ④ オンライン・デジタル書籍の活用については、オンライン図書について情報をまとめた。図書館HPより、無料で閲覧できる他大学紀要へリンク作成したが、今後も医療・自然科学・人文科系雑誌のリンク集の充実を図る。各種ポータルサイト・検索サイトへのリンク作成。電子化書籍（デジタル書籍）の導入は不可欠だが、わが国の電子化書籍の先行き自体が不透明（大日本印刷に問い合わせたところ、図書館などパブリックな利用については検討中の段階という返事）であるので、経過を見守っていく。
- ⑤ その他
  - ・議事録のガルーンへのアップは、平成22年度4月より開始
  - ・見計らい図書、1号館6階へ置かれていたが活用されず、8月より図書館で閲覧可能。サイボウズ掲示板で教員へ連絡
  - ・卒業生サービスに関しては、メールで申し込んでの取り寄せを可能に。料金の未徴収が発生しないように、代引による受け渡しなどを検討。
  - ・大学通信への図書館便りの掲載について、2か月に1度1/4頁。  
平成23年3月号から。9月言語聴覚専攻科長推薦図書 11月共通科目教員推薦図書 1月事務局・図書司書推薦図書 3月学長推薦図書の予定。
  - ・図書館利用規定改定（第11回定例会議 資料2参照）退職者の利用も可能に。
  - ・彩都キャンパスへの資料設置は学生希望のアンケート実施することに。
  - ・全蔵書の確認作業と整理を年度内に完了し、正確な蔵書数を把握した。

## 5. 入試委員会

平成23年度入試に関する検討会議を以下の内容を中心に8回実施した。

- 1) リハビリテーション学科におけるAO入試, 公募制推薦入試, 一般入試, 社会人入試, 大学入試センター試験の実施要領を検討した。
- 2) リハビリテーション学科におけるAO入試の面接評価, 小論文評価, 調査書評価の方法, 公募制推薦入試の面接評価, 調査書評価の方法, および, 社会人入試の面接評価, 小論文評価の方法を検討した。
- 3) 学生募集要項における入学前教育の記載内容を検討した。
- 4) 学生募集要項の作成を行った。

## 6. 学生委員会

学生委員会では2010年度に以下の活動を実施した。

- 1) 新入生交流セミナー開催  
4月24日に学生委員会主催で「新入生交流セミナー」を開催した。障がい当事者の方のお話をお聞きし, グループディスカッションを行った。
- 2) 学生自治会援助
  - ① 自治会役員選挙援助: 役員選挙実施を援助した。
  - ② 学生自治会主催行事援助: 新入生歓迎会(4月23日)と球技大会(6月18日)と学園祭(10月23日)の実施を援助した。
  - ③ クラブ・サークル設立及び活動の援助: 自治会と共にクラブ・サークル新規設立と更新の審査を実施した。
  - ④ 彩都キャンパス使用に関するアンケートを実施した。また, 彩都キャンパス使用申し込みのルールを策定した。
  - ⑤ 自治会会計援助: 自治会予算作成, 予算執行, 決算の援助を実施した。
- 3) 学生生活アンケート実施  
6月に全学生を対象に学生生活アンケートを実施し, その結果をまとめ, 大学及び福田学園への提言を行った。

- 4) 自習室の確保について  
自習室の確保について事務局と対策を講じた。
- 5) 学生向け研修会・講習会主催  
7月に全学生を対象に心肺蘇生法として「AED講習会」を開催した。また、12月7日に福田学園学生相談室カウンセラーの西川先生を講師として「ちょっとお話に来ませんか！学園カウンセラーからのメッセージ」という演題で研修会を開催した。
- 6) 保健管理室
  - ① 学生の健康管理を実施した。
  - ② 学生相談室(心理カウンセリング)と保健管理室の連携について会議を開催した。
  - ③ 7月より整形外科に関する健康相談室を開室した。

## 7. 臨床実習委員会

- 1) 臨床実習指導者会議の検討  
臨床実習指導者会議は、各専攻、専攻科がそれぞれの日程で開催することを決定した。
- 2) 臨床実習施設依頼申請時の承諾書の記入方法の確認  
臨床実習施設依頼申請時の承諾書の記入方法の手引書を作成し、記入方法の統一を行った。
- 3) 臨床実習謝礼金支払いに関する検討  
「実習謝礼金支払いに関する確認書」を作成し、実習謝礼金支払い方法の統一を行った。
- 4) 臨床実習指導者の届け出に関する検討  
「実習指導者確認書」とその手引書を作成し、臨床実習指導者の届け出方法の統一を行った。
- 5) 冬の臨床実習前のインフルエンザ予防注射の検討  
冬の臨床実習前のインフルエンザ予防注射の接種を学生に促すことになった。

## 8. 教務委員会

大阪保健医療大学の初年度からの教務委員会での審議事項は、実状に合わせたシステムの改良あるいは再構築という点に力注がれた。新入生向け入学前教育として、大学 HP の入学前教育サイト (<http://www.ohsu.ac.jp/learning.html>) で入学前に必要な人体の基礎知識を学べる、いわゆる e-learning のシステムを構築した。入学後には講義支援システムとして Jenzabar を導入し、更に Moodle へとシステム変更し、より良い環境を整備していった。

学生の出欠の取り方、長期欠席者の対応、定期試験の詳細な流れ、保護者への成績通知といった一連の過程の中で遭遇する事象についての対応が多かった。また、各授業後には、講義の改善を目的として、マークシート方式による授業評価アンケートの実施を決めた。成績優秀者については、更なる学力の向上を願い、表彰を行った。

来るべき卒業研究についてのあり方、進め方については当初から何度となく審議がなされてきた。

## 9. キャリアサポート委員会

キャリアサポート委員会は 2010 年度から活動を開始した委員会であり、学生の就職活動およびキャリア教育の支援を行うことを活動の主目的としている。2010 年度については、まず委員会発足の年ということで、委員会の内規を定めた他、学生のマナー教育・資格取得に関する意識を探るためのアンケートを行い、本学の学生にとって支援が必要な事項を集約した。その結果、挨拶やお礼状の書き方、電話のかけ方といった就職活動に必要なマナー講習と共に、実習前のマナー教育の実施が必要であることがわかり、就職支援セミナーの実施のほか、就職支援パンフレットの作成を行うこととなった。

就職支援セミナーについては、3/11（金）10:00～16:30 まで、まず就職活動が本格化する ST 1 年生を対象に行った。学生の評判はきわめて良く、2011 年度には PT、OT の学生にも対象を広げ、実施することとなった。また、このセミナーに合わせ、就職支援パンフレットも作成した。このパンフレットに関しては、2～3 年かけて内容をブラッシュアップしていき、最終的に小冊子の形で本学学生に配布する計画である。

また、この他に就職公募書類のコンピュータ入力および管理方法を確立した他、近畿圏の学生職業センターの連絡先などの調査を行い、本学学生の就職活動支援の基盤を整備した。この点についても、2011 年度以降、さらに改善を図っていく計画である。

## 10. ハラスメント委員会

平成22年4月13日に第1回委員会を開催し、洲崎委員長、佐藤睦講師、福山講師、正木総務課長の4名で立ち上げた。まず、今後の方針として①ハラスメント委員会規程(案)、②ハラスメント防止ガイドライン(案)、③ハラスメント防止に関する基本ポリシー(案)、④ハラスメント防止に関する規程(案)の作成及び運用の際に必要な⑤相談窓口業務(案)、⑥教育・研修・啓発活動等業務(案)をこの委員会で決定していく必要があることを確認した。主な役割担当者を次のように決定し、ハラスメント防止ガイドライン(案)→洲崎委員長(正木課長)、ハラスメント防止に関する基本ポリシー(案)→洲崎委員長(正木課長)、ハラスメント委員会規程(案)→正木課長、教育・研修・啓発活動等業務(案)→佐藤睦講師、相談窓口業務(案)→福山講師が中心になりまとめあげた。

その結果、①ハラスメント委員会規程(案)は、5月の委員会で決定して同月の教授会での承認を受けることになった。②ハラスメント防止ガイドライン(案)は6月教授会にて承認された。④ハラスメント防止に関する規程(案)と⑤相談窓口業務(案)は少し遅れたが10月教授会にて一括承認され、11月1日からハラスメント相談の受付を開始した。翌2月にはハラスメント防止と相談体制の周知のためのパンフレットを作成し、23年度の新入生、在学生の学生便覧に添付して周知を図っている。また、23年4月からは吉機専攻長、辻准教授を迎えてより全学的な取り組みができる体制を整えた。23年6月末には全在生に対してハラスメントに関する認知度を確認するためのアンケート調査を行った。